

NPO 法人

希望

NEWS

発行 NPO 法人希望 広報

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3 階

TEL・FAX 043-421-6645

E-MAIL kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP <http://kibou-donguri.org>

2020年 1月 No 4 1

冬のエッセイ

たすけあいの「わ」

副理事長 猿橋 芳生

今年の総会で仲間に加えて戴いた、猿橋芳生です。「希望」の活動にはまだ理解が足りませんが、理解を深め微力ながら力を尽くしていきたいと思っております。どうぞよろしく願い致します。

12月は冬、寒さで気分が沈みがちになります。一方クリスマスのシーズンですので、何となくそわそわする気分にもなりますね。近所の家で2階の窓へはしごが伸びて、何人ものサンタクロースが登っているイルミネーションが庭を明るく照らしています・・・それを見ると心が和みます。

また、12月は歳末たすけあい街頭募金が始まります。小・中・高校生をはじめ、多くのボランティアが駅やスーパーの店頭で呼びかけをします。私も今回は参加できませんでしたが、長年参加しています。

思い出しですが、ボランティアのお母さんたちが呼び掛けると、近所の知り合いと思われる方が「あら××さんご苦労様」と言って寄付をします。スーパーに買い物に来た東南アジアからの実習生のグループでしょうか、少額ですが全員揃って寄付をしてくれました。お国では喜捨は日常の行為かもしれません・・・うらやましい風習ですね。生徒たちも大きな声で呼びかけをします。お母さんにつれられた幼子が、可愛い手で募金箱にお金を入れると、生徒たちは「ありがとうございました」と大きく感謝の声を上げます。

一人ひとりでは小さな奉仕活動と協力ですが、将来へ向け善意がつながって、たすけあいの「わ」が大きく広がっていくとの想いで寒風の中、ほっこり暖かい気持ちになりました。

小林征司監事（前副理事長）表彰を受ける



長年の活動の功績に—— 第39回四街道市社会福祉大会において

当法人の監事(前副理事長)小林誠司氏は長年に亘る、福祉事業への貢献により、11月19日に開催された第39回四街道市社会福祉大会において、社会福祉協議会長表彰をうけました。法人として心からお喜び申し上げ、今後の益々のご活躍を期待します。

四街道市福祉関係機関連絡会結成

30団体が加入どんぐり・だんらんも

昨年12月3日「四街道市福祉関係機関連絡会」の立ち上げの発会式が福祉センターで開催されました。障がい、高齢、児童等の垣根をはずして、福祉に関わる団体が情報交換から始めて、課題解決に向けて協力し合おうという趣旨で結成された者です。当日は準備会という位置づけでしたが、約30もの団体が集まりました。今後、正式に参加を表明した団体で全四街道レベルでの活動を展開する事が期待されます。どんぐり工房とグループホーム「だんらん」も一員として加盟しました。

新春に寄せる詩

「ひとり立ち」

とも作

心のひとり立ちをしよう

心がしゃんと立てば

友達とは会いたい

友達ともきつと

でも その人に

もつと楽しく会える

よりかかっているかも

大人にならなきゃね

しれないと気が付いた

歳を重ねるだけでなく

本当の大人に



「報道のあり方」 PART II

— エッセイ おたまじゃくしの喧き—

理事 伊佐 勉

昨年の「京都アニメーション」の放火事件には痛ましい思いがしました。4年前の2016年7月26日の「津久井やまゆり園」の殺傷事件でも議論になりましたが、今回も被害者の実名報道の是非が問われました。

私は、原則匿名か仮名にして欲しいです。発信したい遺族や被害者が実名を望むならそれでよいと思います。異論があると思いますが、加害者も匿名か仮名にして欲しいです。加害者に家族がいれば、いたたまれないと思うし、加害者の名字が珍しい名前だと、同じ名字というだけで無関係の人が迷惑を被ることもあるようです。

報道陣が被害者の葬儀にまで押し掛けるのもいかなものかと思います。

報道の自由の名の下に「基本的人権の尊重」が蔑ろにされている気がしてなりません。

★ 編集子雑感

昨年末は所謂「桜を見る会」なる、政府主催のイベントで税が政治家個人のために使われている「不正」で安倍内閣は「防戦躍起」。新年も憲法・原発再稼働・沖縄辺野古など政治問題山積。私たちが考える年です。